

レトロ空間が新名所

老舗商店、倉庫に骨董品展示

下田



倉庫の一角には昔懐かしい品々が飾られている＝下田市の土藤商店で

食。ペリーラベルの新商品「保命ドレッシング」の無料配布（先着五十本限定）や観光DVDによる福山市のPRも行う。

十六日午後五～九時、十七日午前十時～午後七時の予定。

第六十九回黒船祭（十六～十八日）のイベント

テーマは「幕末タイムスリップ」。開国市の主会場になる旧町内の商店街は、幕末に限らず古き良き時代のにぎわいぶりを演出する店がある。

三丁目の「土藤商店」

（金沢寛さん経営）は七年前から倉庫の一角を開放し、明治時代から商売で利用した数々の骨董品（こつとうひん）を展示。懐かしい品々によるレトロ空間が「新名所」

になってる。

酒類を中心に米、食料品を扱う明治二十年創業の老舗（しにせ）。店の前にある「なまこ壁」の倉庫に、店で使った看板や道具などを代々大切に保管してきたが、その一部を展示している。

戦前の懐かしいホーロー看板や日本酒、しょうゆの醸造元から提供された重厚な木製看板、代々の屋号看板、商品の仕分けなどを記した明治・大正期の大福帳など、ざつ

と数百点がある。

黒船祭中の十六、十七の両日、ペリー提督が味わったとされる「保命酒」（醸造元＝広島県福山市、岡本亀太郎本店）を使った関連商品で地域おこしをする中島商店（福山市）の中島基晴専務が下田市を訪れ、保命酒や関連商品を土藤商店で販売する。

保命酒の試飲や保命酒を使ったカクテルの飲み比べや、保命酒を使った七色のミニたい焼きの試